

2011年12月16日

中央線沿線価値向上プロモーション 2011 「中央線が好きだ。」ポスター第2弾ができました!!

～第2弾のテーマは「江戸東京たてもの園と昔あそび」～

JR東日本八王子支社では、中央線沿線のお勧めスポットを駅ポスターで紹介するなど、「中央線沿線価値向上プロモーション」を2007年度より展開し、2011年度はプロモーション5年目を迎えました。今年度も引き続き積極的に中央線沿線の魅力を発信しています。

今年度のテーマは昨年度に引き続き「中央線沿線の人と街とのつながり」です。中央線沿線に暮らす方、中央線沿線を利用される方が中心となって取り組んできた“街・コミュニティに貢献する”活動をポスター等を通じて発信しています。

この度、2011年度第2弾ポスターが完成しました。今回のポスターでは、江戸東京たてもの園「ひじろ会」「ひじろっ子」の皆さんにご出演いただきました。

1. ポスター第2弾 テーマについて

(1) テーマ：「江戸東京たてもの園と昔あそび」

中央線沿線に暮らし、利用される方が“街をもっとよくしたい”その想いを実現した活動があります。両国にある江戸東京博物館の分館として、1993年に小金井市の小金井公園に開園した『江戸東京たてもの園』。園内では文化的価値の高い歴史的建造物が展示されているだけでなく、ベーゴマ・竹馬などの昔遊び体験、風車やわらじ作り、紙芝居の実演などが行われ、当時の情景も再現されています。

今回は、江戸東京たてもの園で活躍するボランティアスタッフ「ひじろ会」「ひじろっ子」の皆さんにご出演いただきました。

(2) ポスター出演者：江戸東京たてもの園「ひじろ会」「ひじろっ子」の皆さん

「ひじろ会」「ひじろっ子」とは

江戸東京たてもの園のボランティアスタッフ「ひじろ会」では、職員の方と一緒に建造物の保存や園内サービスの支援活動を行っており、約190名の方が活動しています。園内のガイドはもちろん、藁葺き民家での燻煙による囲炉裏端の情景の再現なども行っています。

また、夏休み期間限定で、小学3年生～6年生を対象にしたこどもボランティア「ひじろっ子」を募集し、民家の清掃や整備だけでなく、昔遊びのレクチャーなどを行っています。

2. ポスター第2弾 掲出について

(1) 掲出開始日：2011年12月16日（金）以降

(2) 掲出箇所：JR中央線 東京～高尾間の各駅（※中央線快速列車の停車駅）

3. 中央線沿線価値向上プロモーション その他の情報発信について

「中央線が好きだ。」ホームページでは、ポスターテーマと連動したコンテンツをご用意しています。過去のポスターの壁紙ダウンロード、ロケ地リポート、ポスター撮影の裏側の様子など楽しい情報を随時発信していますので、ぜひご覧ください。その他J・ADビジョン、トレインチャンネルにおいても過去に掲出したポスターを放映しています。

「中央線が好きだ。」ホームページ

URL：<http://www.jreast.co.jp/hachioji/ensen/>

（検索サイトにおいて「中央線が好きだ。」を入力してください。）

また、中央線沿線価値向上プロモーションが今年で5年目を迎えたことから、12月19日（月）より武蔵境駅構内において、これまで展開してきたポスターの展示会「ポスターギャラリー」を開催します。「ポスターギャラリー」では、これまでご紹介してきたポスターの人気投票も同時に開催する予定です。詳しくはホームページをご覧ください。

※関連情報

駅から歩くウォークラリー「えきぼ」では、「小金井桜と憩いの公園散策」コースの通過ポイントとして、今回ご紹介させていただいた江戸東京たてもの園を取り上げています。なお、入園時にえきぼ携帯サイト「江戸東京たてもの園」のページを提示すると、えきぼ参加者特典として入園料が割引となります。詳しくはJR東日本八王子支社ホームページをご覧ください。

HP アドレス：<http://www.jreast.co.jp/hachioji/ekipo/>

～「中央線沿線価値向上プロモーション」とは～

中央線沿線は、どの街にも個性があり、豊かな自然など多くの魅力に溢れています。「中央線沿線価値向上プロモーション」は、たくさんのお客さまが、憩い、働き、学び、暮らしているこの沿線の魅力をさまざまな角度から情報発信すると同時に、新型車両の導入、魅力ある駅づくりなどの取り組みをわかりやすくお伝えします。

別紙

＜第2弾ポスター＞2011年12月16日(金)以降掲出



●ポスター出演者 :江戸東京たてももの園「ひじろ会」「ひじろっ子」の皆さん

◎ ポスター記載文章

**変わり続ける東京だからこそ、
変えたくないモノがある、忘れたくない記憶がある。**

【都立小金井公園 江戸東京たてももの園・ひじろ会とひじろっ子】

江戸時代から昭和初期のものまで、29棟もの貴重な歴史的建造物を展示する、江戸東京たてももの園。ここでボランティアとして活躍するのが、「ひじろ会」と「ひじろっ子」(夏休み期間のみ)の皆さんです。「ひじろ」とは多摩地方周辺の方言で、いろいろのこと。その活動内容はいろいろの火入れから建物ガイド、昔遊びの指導など多岐に渡ります。彼らはいわば、園と見学者との橋渡し役。建物と人の力で見事によみがえった、古き良き町角へ。あの頃の東京へ、出かけませんか。